

事業名	Dreamweaver Live ～障害のある人と無い人が一緒に JAZZ を楽しむ時間～
【当初計画の事業目的(取組課題)と実施効果】 JAZZ を通して人と人がつながり、夢を織りなす世界を作る。音楽は、国境も、年齢も、障害の有無も、あらゆる境界を超えることができる力を持っている。 一方で障害の重い人たち、特に医療ケアの必要な人たちは、日ごろから音楽に親しむ機会があるものの、一般のホールやクラブなどのコンサートに行くことが難しい。移動の制約(階段や段差、長時間移動ができない等)があることはもちろん、トイレや水分補給の場所、思わず声が出てしまったり体が動いてしまったりすること、医療デバイスの音、体調管理の難しさなど多くのハードルがあり、気軽に安心してコンサートに参加できない。どんな人でも楽しめるという意味では、重い障害のある医療的ケアが必要な人たちが安心して参加できるようなものにしなければならない。 さまざまな障害種別の人に参加してもらったり、より多くの市民に参加してもらったりすることで、障害に対する理解啓発を進め、音楽がさまざまな人と人との交流の懸け橋になることを伝えたい。また、パラアートの推進に寄与するとともに、「音楽のまち・かわさき」を盛り上げていきたいと考え、障害のある人と無い人が一緒に JAZZ を楽しむライブコンサートを企画した。 【実施効果】 ○さまざまな障害のある人たちが、安心して参加できるボーダーレスのコンサートの形を示す ○近隣の関係施設等と音楽を通して交流を深める ○一般市民と障害のある人たちが同じ場で音楽を楽しむことにより、インクルーシブ社会の実現に寄与する 【次年度以降の展望】 ○同じ形態でコンサートを実施することで、地域に定着した活動としたい ○一般市民が気軽に参加できる地域のイベントとして定着させたい ○さまざまな地域で同じような形のコンサートが実現できるようにしたい ○アーティストである西村知恵さん(ジャズシンガー)が推進している「重度障がい者の為の JAZZ CLUB 設立」実現へのモデルとしたい	

【実施結果(成果)】
【日時】2月11日(火・祝) Open 13:30 / Start 14:00 / 15:00 終演 【出演】HighVolt: 西村知恵(vocal),高木慎二(soprano sax),天野丘(guitar,arrange) スペシャルゲスト: 清水咲希(piano) 【参加人数】175名 うち車いすの方 24名(13.7%) ボランティア 22名(高校生、大学生、教員等) 【入場料】無料 【会場】川崎市国際交流センター ホール 川崎市中原区木月祇園町 2-2 【日程】9:00～11:00 ピアノ調律 10:00 西村知恵さん会場入り 11:00 会場準備 11:30 他の出演者会場入り 12:00～13:00 リハーサル 13:30 開場 14:00～15:20 コンサート 16:00 片付け 17:00 撤収 【広報】 ①チラシ配布 計 4,000部 ・2,000部 川崎市内・横浜市内特別支援学校 13校/関係施設 60か所/他関係者 ・1,600部 川崎市文化財団から / 400部 出演者から ②インターネット 法人 Facebook https://www.facebook.com/icare2016love/ 【メディア・SNS 掲載】 ①朝日新聞 https://digital.asahi.com/articles/AST2C4HN4T2CULOBO1LM.html ②イッツコム「イッツコム地モト NEWS」(地デジ 11ch) 2月20日(木) 18:00～20:00 https://www.youtube.com/playlist?list=PLdk6RavroSeiam5vgsvNNxy77WDS1yi4D ③西村知恵さんの Instagram https://www.instagram.com/p/DF-HrHap-wo/?utm_source=ig_web_copy_link ④あいけあの Facebook https://www.facebook.com/icare2016love ⑤参加された方の note 記事 https://note.com/heballka/n/nac3eeaa45ddb

【実際の効果と課題】

○障害の有無にかかわらず、安心して参加できるボーダーレスのコンサートの形を目指したことについては、十分達成できたと思う。出演者を囲むように、観客同士が対面でそれぞれの表情や動きが見えるようにしたことで、障害のある人がステージ上で自由にダンスをする様子や、車いすの上で楽しそうに音楽を感じている姿を一般参加者が目にすることができ、結果、自然な形でインクルーシブな空間を実現できていた。また、関係施設等とのつながりは、広報時点から深めることができ、2 法人からは各法人の広報誌に情報掲載していただくことができた。さらに、新たにつながりがもてた機関もあった。

○参加者アンケートからは「参加したみなさんで Live を作っていった感じがとてもよかった」「全てを受け入れる器の大きさを感じたコンサートでした！」「出演者の皆さんの思い、優しさ、全員の一体感に感動！」「本格的なジャズを皆さんと楽しめることに、驚きました」「愛のある温かい空気感がとても居心地良かったです」など好意的な意見ばかりだった。また、会場については、フラットだったこと、休憩スペースがあったこと、足を運びやすい場所だったことがそれぞれ 20～30%の参加者に評価された。

○応募終了時点では 200 名を超える状況だった。また締め切り前に定員に達していたにもかかわらず、その後も問い合わせが多数あった。

○今後は、開催規模を大きくすることや、複数個所で開催するなどで、障害の有無にかかわらず気軽に参加できるコンサートとしてシリーズ化していけるとよい。

○そのためには、適した会場の確保と出演者のボランタリーな協力、多数のボランティアスタッフが必要となる。